昭和55年8月5日
広報あじす　毎月5日
お知らせ版　毎月20日　発行

山口県吉敷郡阿知須町
発行　阿知須町役場
電話 4111番㈹・〒754—12
印刷 よしの印刷株式会社

広報あじす

No.344

町の住民登録人口
（55年7月30日現在）　前月比
世帯　2,211世帯　－2
人口　8,359人　＋11
（男3,910人　女4,449人）
（国勢調査　昭和50年10月1日）
世帯　2,113世帯
人口　8,137人
男3,771人　女4,366人

地域ぐるみで育てよう
たくましい阿知須の子

自ら求め、最後までやりぬく
県の指定で町育成協議会が発足

思いやりのある子ども、自ら考えてものごとをやりぬく子ども、じょうぶな子ども、そうした心身ともにすこやかな子どもを育てるために、本町では"たくましい阿知須の子"育成協議会を結成、町をあげてこの実践活動をめざすことになりました。

県は五十三年度から"たくましい防長っ子"の育成を提唱、地域的に実験校区を設けてきましたが、五十五年度は阿知須を指定しました。これを受けて、町では町民運動として、この運動に取り組もうというわけです。

このため、七月一日には町役場で育成協議会の結成総会を開き、会長に松永泰明氏（阿知須中学校長）をきめたほか、委員会や部会の構成、研究主題などをきめました。指定期間は五十五・五十六年度の二か年間です。この間に「自ら求め、最後までやりぬく、思いやりのある子ども」を育てることを主題としています。

よい子は明るさいっぱい

各部会の役員

部会は①幼児教育②学校③PTA④地域活動の四つ。各役員は次のとおりです。（部会長、副部会長の順）

（協議会）委員三十一人＝▽会長＝松永泰明（阿中校長）▽副会長＝山根俊英（井小PTA会長）渡辺利彦（阿小校長）

▽幼児教育部会＝八人＝小野絹子（阿幼）岡村トシエ（砂保）

▽学校教育部会＝十八人＝安村五男也（井小校長）舛谷寧彦（阿小教頭）

▽PTA活動部会＝二十一人＝中野新一郎（阿小会長）中原謙二（阿中会長）

▽地域活動部会＝二十二人＝釈野憲章（町子ども会育成会長）工藤襄（スポーツ少年団代表）

【親がめざすこと】

①進んで取り組み実行する子どもを育てよう
・自分のことは自分でさせよう
・計画的な計画をさせよう

②最後までやりぬく気力と体力を持つ子どもを育てよう
・体力づくり、スポーツ活動に参加させよう
・苦しくなっても最後までやりとげさせよう

③節度と思いやりのある子どもに育てよう
・基本的な生活習慣を身につけさせよう
・感謝の心を育てよう

【子どもの目標】

①身のまわりの整理整頓をしよう▽進んで手伝いをしよう▽テレビの見方を工夫しよう▽きめた時間に勉強しよう

②毎日なわとびをしよう▽偏食をなくそう▽やりはじめたことは最後までやろう▽めあてを持ちぶっかっていこう

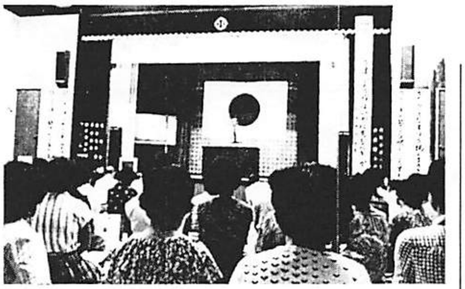
③時間を守ろう▽進んで明るいあいさつをしよう▽公共物を大切にしよう▽祖先を大事にしよう▽奉仕活動に進んで参加しよう

【親と子の共通目標】

①テレビを見て一しょに話合おう
②親子でスポーツをしよう
③親子、家族ぐるみで明るいあいさつをかわそう

○

しかし、これを実行するためには親がまず、しっかりする必要がある、との声が話合いの中で強く出されていました。



家庭平和が非行防ぐ
社明大会　河村豊氏に感謝状

ことしの「社会を明るくする運動推進大会」は町と町社明運動実施委員会の主催で七月二十五日夜町議事堂で開かれました。

この大会には町内の社会教育、福祉団体などから約百五十人が出席、人づくり、町づくりのための発表や講演がありました。

まず、小郡署から防犯指導員として委嘱を受けて以来十三年余にわたって活動し、三月末で辞任の河村豊さん（五七）—恵比須区—に町長が感謝状を贈って功をねぎらいました。

現状発表では岩崎義昌（阿知須派出所主任）野村舒泰（町人権擁護委員）中原謙二（青少年育成地区推進員）田中ハナコさん（阿知須婦人会）ら四氏がそれぞれの立場で述べましたが、家庭の平和、地域の連帯感が非行（未成年者の犯罪）や犯罪を防ぐことになるというのが共通していました。

講演は松永泰明氏（阿知須中学校長）が「青少年の健全育成はいかにあるべきか」と題して約一時間にわたり、中学生の考え、有名人のことばをひもときました。

その中で「物が優先する時代を過ぎてこれからは人間性を回復することが必要である。価値の基準を見直し、自分たちの進む大局を見誤らないようにしよう。つまるところ、よい家庭は明るい社会を築く」と訴えました。

（写真は大会々場と感謝状を受けた河村豊さん）

お知らせ

ひげダンスのコンテストも
十六日に盆踊り

ことしも阿知須町青年団を中心に盆踊り大会が八月十六日（土）午後六時半から町役場前広場で開かれます。

また、アトラクションとして、ひげダンスのコンテストもあります。コンテスト出場希望者は八月九日までに町教委か青年団事務所（有線四一五九番）へお申込みください。

八月末で期限切れ
国民健康保険証

国民健康保険被保険者証の有効期限が八月三十一日限りで切れるので保健衛生課では近く保険証を回収します。

近日中に各部落の区長さんが保険証を集めにいかれますので、現在保険証を病院などにあずけておられる人は、手元に保管しておいてください。係で確認したあと後日、印を押してお返しします。確認のすまない保険証は九月以降使用できません。

届出は九月十日まで
児童扶養手当など

児童扶養手当や特別児童扶養手当を受けるための現況届は九月十日までです。

現在、受給中の人は八月分を郵便局で受けたあと、受給証書と印鑑をもって住民課福祉係で手続きをしてください。

ごみの収集は十三日まで
盆の三日間は休み

今年もごみの収集を十五・十六・十七の三日間休みます。

盆が近づくと多量のゴミが出ますのでお早めに。

各部落の集積所（ごみバック）か岡山焼却場へ出すのは十三日までにお願いします。

家出人を捜す相談

家出あるいは行方不明になっている身内の人を捜している方はありませんか。警察では、八月中「家出人を捜す相談所」を設けて相談に応じます。

秘密は固く守られます。遠慮せずに小郡警察署か阿知須派出所へどうぞ。

どうぞご利用を
まごころタクシー券
ほのぼのサービス券

身体障害者手帳に一・二級の「第一種」と記入されている方には、タクシーの基本料金が十回分だけ無料になる恩典があります。該当者は遠慮なしにお申出ください。

これは、宇部総合タクシーセンターが、地域の身障者福祉事業として実施しているもので、本町に支社をもつ宇部中央交通、宇部相互タクシーなど八社が加盟しています。

該当者は国鉄乗車割引一種（付添人がいる人）の人。タクシー割引きは、例えば、小型車に乗って五百円の料金がかかったとき、その基本料金三百三十円は無料で、残り百七十円を払えばよい仕組みです。

無料券（まごころタクシー券）は町住民課にあります。希望者は町住民課福祉係へ印鑑と身障手帳をもってお申出ください。代理人でも結構です。

また、町の老人・入浴サービス（ほのぼのサービス券）は七十五歳以上の人を対象として計三千円相当の券を差上げています。これを希望されるお年寄りもどうぞ福祉係へお申出ください。印鑑がいります。

善意はここに

（社会福祉協議会へ）

◇香典返し▽十万円＝正司和夫さん（浜）は父金蔵さんの▽三万円＝北野二美代さん（旦北）は夫弘さんの、竹原誠さん（旦門松）は母サトコさんの、福井方彦さん（仙在）は母キヨさんの。

（町へ）

◇広報紙送料▽三千円＝平海英夫さん（神戸市長田区山下町・小西出身）

◇篤志▽一万円＝岩本ユリコさん（山口市本町一丁目一番十三号）は霊廟運営資金として。

県の職員採用試験

県人事委員会は本年度の県職員採用中級・初級試験を行います。

受付期間は八月二十五日～九月十三日。受験申込み、問い合せは県人事委員会（山口市大手町・電話山口(22)三一一一）へ。

講習会へどうぞ
在宅の看護婦免許所持者

県では看護婦免許をもちながら就職せずに家庭にいる婦人を対象に、看護技術などの講習会を開きます。

看護婦不足に備え、いつでも新しい知識をもって医療業務にたずさわることができるようにとのねらいによるものです。

講習は八月二十五日から三十日まで、防府市の県立衛生看護学院で。内容は最新の看護知識、技術演習など。申込みは八月十日までにはがきか電話で山口県庁医務課看護係へ。受講無料。

厚生省が従軍看護婦の実態調査

厚生省は従軍看護婦をしていた人の実態調査をしています。

内容は従軍の職歴、本人所有の在職に関する資料、看護婦免許のことなどです。調査票などは町住民課福祉係にありますので該当者はお立寄りのうえ、調査にご協力ください。

ぼくの学校わたしの学校

（阿知須小）
12日　プール掃除
21日　貯金日・全校登校日（草取大会）
9月1日　始業式
5日　給食費集金

（井関小）
21日　全校登校日・PTA作業
9月4日　水泳記録会
6日　ふるさと学習

（阿知須中）
15日　交通安全日
21日　全校登校日・貯金日・簡易保険・諸会費納入日
23日　郡水泳大会

8月のメモ

9日	少年教育講座（後2時半）
10日	初心者軟式テニス教室（前9時半・阿中）
11日	洋裁教室（前10時）　子ども会ソフトボール大会（阿中・阿小・2日間）
12日	育児相談（後1時半）
13日	親と子の本読みの会（前9時半）　ペン習字教室（後2時）
14日	交通事故相談（前10時）
17日	初心者軟式テニス教室（前9時半）
18日	園芸教室（後1時半）　洋裁教室（前10時）
19日	料理教室（前9時半）　1歳6ヵ月健康診査（後1時半）
20日	ペン習字教室（後2時）　青年教室（後7時）
21日	手芸教室（後1時）　あじのす大学（後1時半）　心配ごと相談（前10時）
22日	親と子の本読みの会（前9時半）
23日	少年教育講座（後2時半）

（会場の記入のないのは役場）

今月の納税

○町県民税
○国民健康保険税

あじす運動　あ「あいさつ」をしよう　じ「じかん」を守ろう　す「スポーツ」にはげもう

総合計画審議会の条例など可決

町議会一般会計予算は18億円を超える

第三回定例町議会は七月十五日招集、一般会計補正予算案など七議案全部と決議案二件を可決、請願二件のうち一件を採択、一件を継続審議として二十五日に閉会しました。

議案は①総合計画審議会を設ける②それに伴う費用弁償額を定める③町公民館建設に伴う設置および管理について④公民館の使用料手数料を定めることなどの条例改正や制定⑤一般会計補正予算（第一号）⑥町固定資産評価審査委員の選任⑦町議会委員会条例の制定についての七件ですがいずれも原案どおり可決されました。

総合計画審議会委員は町の基本構想をつくるに当って町長に委員会としての考えを答申するわけですが、この定数は十五人。学識経験者や議会、団体代表などで構成します。報酬は一日三千五百円。

これで町の基本構想策定の体制に入ることになります。

公民館は九月末に完成する予定なので完成後の管理等について町条例で明らかにしたもの。使用料手数料は時間、設備の利用等によってそれぞれ定め、最高は三階大講堂が一万三千二百円（十七時から二十二時まで）としています。

一般会計補正予算は当初予算に一億六千三百七十八万七千円を追加し、歳入歳出ともそれぞれ十八億一千一百六十四万二千円となりました。この額は本町の予算は最高記録で、前年度最終予算より一九・九八%の伸び。

固定資産評価審査委員は三人のうち藤田安治氏(七二)—河内・農業—が任期満了（三年間）となるので再選したもの。

町議会の委員会条例は常任委員会に総務、産業、社会の三つの委員会をおき各六人の定数とすることなど定めています。これまでは「阿知須町議会常任委員会及び特別委員会条例」であったのを委員会条例として独立させたものです。

決議は、五十五年産米の政府買入れ価格等に関するもので、米価の引上げ、食糧の自給力の向上、米穀政策の確立など政府に働きかけるもの。

もう一つは、産炭地域振興臨時措置法が来年十一月に二十年間の時間切れとなるため、同法および関係法をさらに期限延長して、産炭地域の発展をはかってほしいという要望。

本町は同法の適用地域であり、この決議文を大蔵省、通産省に送る一方、三好町長は宇部・小野田圏域の市長・町長らとともに七月末に上京して陳情しました。

請願は町身体障害者更生会から老人同様、「身障者更生会員にもバス乗車の無料券を町から交付してほしい」というもの。これは今回の補正予算に計上ずみです。

もう一つの請願は「町商工会に振興費の補助をしてほしい」というもので、これは継続審議となりました。

今回の会期は十一日でした。

多屋橋の改良や井関小改築

補正予算の主なもの

予算の補正額一億六千万円余のうち主なものをみますと

歳入は前年度の繰越金七千四十一万六千円、国庫・県支出金六千五百八十七万九千円など。

歳出は土木費のうち土路石川の多屋橋（参宮道路）改良工事請負費五千七十三万六千円、井関小学校校舎改築工事請負費追加分千四十七万円、都市計画駅通り線工事請負費九百九十万三千円。その他消防ポンプ車一台購入、堆肥センター用地の残地買収、干拓の蚊駆除の薬品、総合計画策定の関係経費、良質の種豚を買入れるために養豚組合へ補助、宮の脇溜池（河内）ほか農道・水路・溜池の改修など含まれています。

議場の配列を改む

議員と執行部が向い合い

議事堂の議席はこれまで議員と執行部が「ロ」の字型に並んでいましたが、今回の定例会から、議員と執行部が向い合って座るようになりました。

議員が一般質問にたつ場合、従来は自分の席で発言していたのが、こんどは前方に進み出て演壇で発言することになっています。

（写真は座り方が改められた議場）

〃貝殻山〃を学術調査

二千年前を明らかに

町教育委員会では、八月三日から引野遺跡（貝殻山）の発掘調査に着手しています。

この遺跡は標高八十二メートルの山の中に貝殻がたくさんあり、二千年前ごろ人が住んでいた跡といわれ、文化庁や県教育委員会の助成金を受けて、年代、規模、など学術的に明らかにしようとするものです。

調査は広島大学の小野忠凞教授など考古学者ら七人が担当しています。興味のある人は見学されても結構です。

なお、本町の丸塚古墳はすでに1号から5号まで調査、発掘を完了しており、町指定文化財として保存されています。

ミ・サイレンを寄贈

更生保護婦人会

阿知須町更生保護婦人会（尾上孝子会長）はこのほど町へミュージックサイレン（七十一万円相当）を寄贈。毎日、午前十一時に「野ばら」、午後五時に「夕やけ小やけ」の曲が岡山の高台一帯に鳴りわたっています。

設置場所は岡山霊びょうの斜め後方。十六㍍のポールの上にスピーカー四個を四方に向けて音がよく伝わるようにしてあります。

長雨の被害は約一千万円に

ことしの梅雨期は長時間、しかも多量の雨が続き、本町は約一千万円の被害が出ました。

特に六月三十日から七月十日までに四百十六ミリ降り、この十一日間で昨年の降雨量千五百五十九ミリ（町役場雨量計）の約二七%相当分を記録しました。

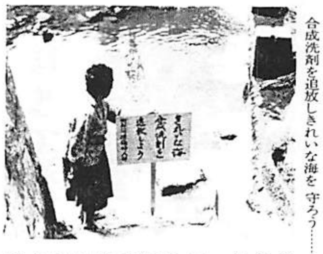
昨年六、七月の降雨量は五百八十七ミリ、ことしの同期は八百五十七ミリでした。

今回の雨の被害は次のとおり。▽井関川慶応橋の付け根＝高さ五㍍、長さ十七㍍損壊▽野口の道路＝コンクリート・ブロック擁壁＝高さ三㍍、長さ四十㍍崩壊▽青畑かんがい用水路＝長さ二十五㍍▽その他、飛石、浜、土路石地区の水路など部分的な崩壊が二十数カ所。

復旧に多額を要するところは国の補助金を受けて復旧工事にかかる予定です。そのため、県の係員の現地確認までは被害箇所に手を加えることができないところもあります。係では事故防止の措置はしますが、見苦しいところはしばらくご勘弁ください。

きれいな海を守ろう

漁協婦人部　合成洗剤追放めざす


きれいな海
合成洗剤を
追放しよう

合成洗剤を追放しきれいな海を守ろう……と阿知須漁協婦人部が燐を含む合成洗剤追放運動にたちあがりました。

合成洗剤の中には燐が含まれ、これが海に多量に流れ込むと、藻類に栄養が行きわたり水の中にすむ生物が異常繁殖します。その結果、水質が悪くなって魚貝類を死滅させることにもなるといわれ、同婦人部はきれいな海を守るために、運動を始めたわけです。

漁港の入口には「きれいな海合成洗剤を追放しよう」と書いた立札をたて、一般の人の協力を求めています。

ごみの持出しは水分を除いて

袋も指定のもので

ごみを各地区の集積所に出される場合は町環境衛生連合会が販売している町指定のビニール袋か紙袋を使っていただけませんか…ごみ収集作業員はいま、みなさんの協力を強く求めています。

夏はスイカや残菜類が特に多く水分がいっぱいのごみがたくさん持ち出されます。

しかし、ビニール袋に入っていても破れかけていたり、水分が漏れるものもあり、集積所を汚したり、悪臭を出したりしています。

また、臭いのもれる入れものは猫や犬がくい破ることもあり、環境衛生上、あるいは収集作業に大変困っています。

環境衛生連の地区役員も大変心痛しておられます。残菜・残飯類は自宅でよく水をきり、袋は指定のものを使うよう心掛けましょう。

道路の正しい利用を

八月は「道路をまもる月間」です。ことしも八月一日から八月三十一日まで全国で運動が展開されています。

この運動は安全で快適な道路環境を保持するために、交通安全施設等を点検整備し、道路の正しい利用法と道路愛護思想を広め、道路を常に広く、美しく、安全に使う気運を高めようとするものです。

本町も交通の事故防止と円滑な通行をはかるため、交通安全施設や道路工事箇所の点検整備を進めていますが、道路を利用されるみなさんも、カーブミラーなどの交通安全施設をこわしたり、車両の積載物を落したり、自動車、自転車を不法に駐車したり、広告物、商品を道路に置くなど、交通の障害となるような行為をしないようにして、道路を正しく利用しましょう。

みんなの広場

あなたの文芸作品やご意見、お気づきのことなど未発表のものをお寄せください

▽提案↑↓お答え△

浚せつを陳情中

井関川の美化について

過日、町内の方から「井関川の水害防止と環境美化のために、これまでのように続けてほしい」という投書をいただきましたが、これについて町の計画を申しあげます。

ご説のように川土手の花や木々は私たちの町を美しくいろどってくれます。これに合わせて川をきれいにすることは大へん意義あることです。

これまで、町内の方々にご奉仕をいただいておりましたが、最近では、川底に土砂が相当たまってきたため、単に草を刈るだけではなく、川の砂を持ち去るのが効果的だと考えられます。そこで、県営事業として川の浚せつをしてもらうべく現在陳情中です。

また、土路石川についても同様で、両方の河川の陳情しており、この現実をめざしているところです。

短歌

小西　平海アサノ
老いの吾が楽しみに作りし山祐の
大き玉ねぎ背負ふて帰る

小西　藤重アヤ子
鉢植のサツキの花の咲きさかり心
なごめる朝に夕べに

旦東　木原百合雄
冬枯れしものと思ひしアフエラン
ド今日見れば二枝芽をふきており

南祝　長谷川さつき
井関川中州に降りて羽たたむ白鷺
浅き流れにうつる

小東　松尾　君代
京に来て此の地に学びし子を思ふ
その六年は永き月日よ

浜　正司ウメノ
吾が夫の永き一生の惜別か降りつ
ぐ雨に柩ぬらして

飛石　砂村ヤス子
あづかりしみゆきちゃんの智慧め
だち顔おぼえきて孫のごとくに

北祝　原田双恵
燕一羽コートの地面すれすれに飛
び去りゆきぬゲームのさ中に

砂三　桜井　文子
ごみ捨場に化したる空地の片隅に
カンナ紅の花ひらきたり

砂三　渡辺　宮子
拾へども枡より零れる青梅のまさ
びしき音心にひろごる

浜　石田サダ子
機械化せし作業場は熱気のこもり
いて暑さにむかふ日日をきづかふ

旦北　益弘　吾一
けらみみず田にしどじょうなど死
滅せる田に何喰わむ白鷺の立つ

岩西　中本　幸枝
寝台車にゆられて着きし京都駅亡
き夫と来し思ひしきりに

源河　村井　薫
家毎に園へる庭につつじ咲き人ら
豊かに農を営なむ

源河　三吉　琴
丁寧に土つけて掘られしホトトギ
スみづみづしきを届けくださる

砂一　松代　二郎
梅雨明けのグラウンド明し日旺日
町内バレーのボール鳴り鳴る

ご協力ありがとうございました

アンケート調査

六月から七月にかけて、町内のみなさまに「基本構想についてのアンケート」をお願いしましたところ、絶大なるご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

おかげをもちまして、九〇%の回収ができ、しかも、いろいろな貴重なご考察、ご意見をいただきましたことを大変感謝いたしております。

特に、回答の余白欄には町の現状、あるいは将来について真剣に思いを寄せておられる方が非常に多いこと、町職員の応待、職域外での生活態度、職員数等についてなど厳しいお考えの方も相当あることが伺えました。

その他、教育、福祉、建設事業など、多岐多様なご意見が寄せられました。

一方おほめや激励のおことばもたくさんいただきました。恐縮しております。

係では、これらを分類、整理して、要望などですぐ着手できることはすぐ実行し、将来計画に参考とすべき事項等は計画策定の段階で、検討していきたいと考えております。

財政の問題、税金、その他、各種料金等についても疑問が多くありましたが、これらの点につきましては広報紙、その他でお答えし、みなさまのご判断に仰ぎたいと思っています。

ありがとうございました。今後も、ご意見、ご希望がありましたらどうぞお寄せいただきたいと願っております。

慶弔録

出生（おすこやかに）

田中隆男	長女	恵子	6・25	岩辻
芥川和利	長男	彰	7・8	引野
福永宏志	二女	瞳美	7・11	引野
大黒莫雄	二男	達雄	7・11	浜
池田賢次	長女	めぐみ	7・9	南祝
村田英行	長女	尚子	7・8	縄南
松崎繁秋	長男	顕一	7・21	浜表
塩見　猛	二女	陽子	7・21	砂二

婚姻（おしあわせに）

山田誠司	飛石
たかね（吉永）	宇部市
酒井紀光（森富）	縄北
珠代	宇部市
山田善博	築地
文子（亀地）	島根県益田市

死亡（ご冥福を祈ります）

辻田　クニ	7・4	93	岩辻
福井　キヨ	7・14	74	仙在
福永　マキ	7・25	88	野口